

「鉢かづき」論—母親の意志を象徴する「魔法の鉢」—

文19-0427 土肥なつ美

目次

要旨

ざっくり人物紹介

①女の操を守る

②入水自殺阻止

③母親の「婿選び」

④子離れ

⑤父親との再会

⑥まとめ

『鉢かづき』のモノガタリは『御伽草子』に収録されている。ヒロインである姫は母親から大きな鉢をかぶせられ、母親が亡くなった後にさまざまな苦難に遭遇する。しかし、白馬の王子さまのような男性と巡り会い、やがては鉢も外れ、幸せな結婚をする。このモノガタリは、姫が観世音菩薩の力により幸せとなる霊験譚であると読み解かれてきた。しかし私は、観音さまより、姫の母親の強い願い(娘を幸せな結婚に導きたい)の力を読み解いた。以下、五つの場面を取り上げて、**母親の執念とも思える意志が鉢に宿り、姫が幸せになれるように導いていくモノガタリであることを考察する。**

ざっくり人物紹介

娘の婿は私が選ぶ！
金持ちの男じゃないと
ダメ！

母親



大好きなお母さんが
亡くなり、家を追い出され
鉢は取れない…
お母さん助けて…

姫



だって可愛かったんだもん！
姫は私がもらう！

宰相

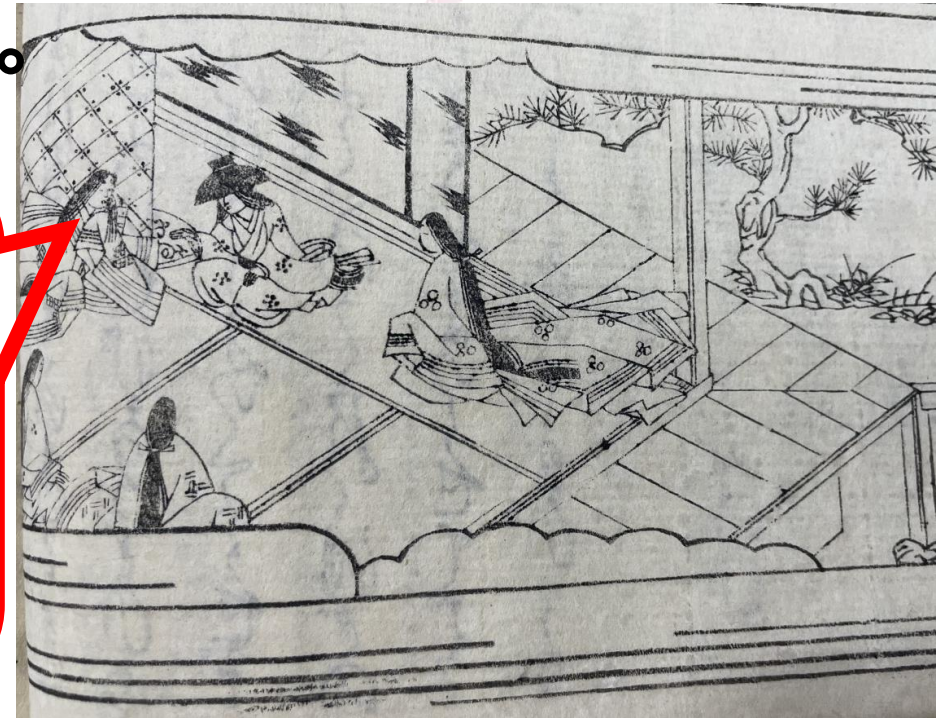


①女の操を守る

あらむざんや、十七八にもなし、いかなる縁にもつけおき、心安く見おき、とにもかくにもならずして、いとけなき有様を捨ておかんこと、あさましさよ（母親臨終の際の言葉）

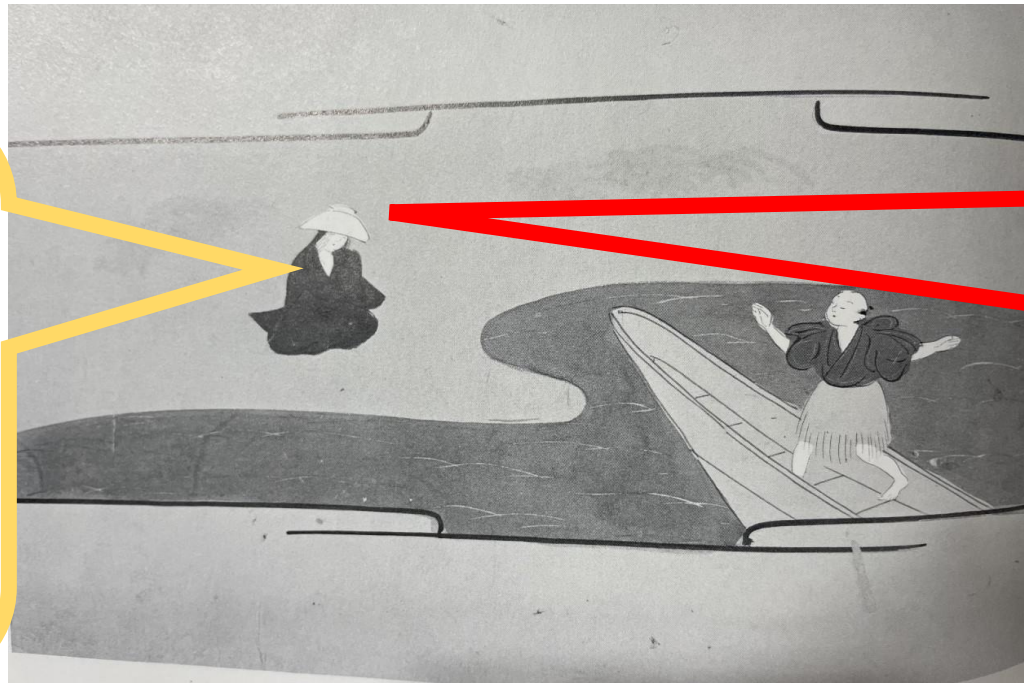
- 母親は娘が結婚するまで見届けたかった。
- 人々は鉢を被っている姫のことを化け物扱いして恐れ、結果的に姫の操は守られた。

愛する娘に変な男が寄り付かないようにしなきゃ！
死んでも、貴方の婿は私が選んであげるから！



②入水自殺阻止

- 母親が亡くなった後、姫は家を追い出されてしまう。
 - 足に任せて歩いていると大きな川を見つけて、亡くなった母親の元へ行きたいと思い「神の助けよ」と詠み入水自殺を図る。
 - 鉢のせいで頭が浮かんでしまい入水自殺失敗…
- 観音の力は姫の意志ではなく母親の意志に忠実。



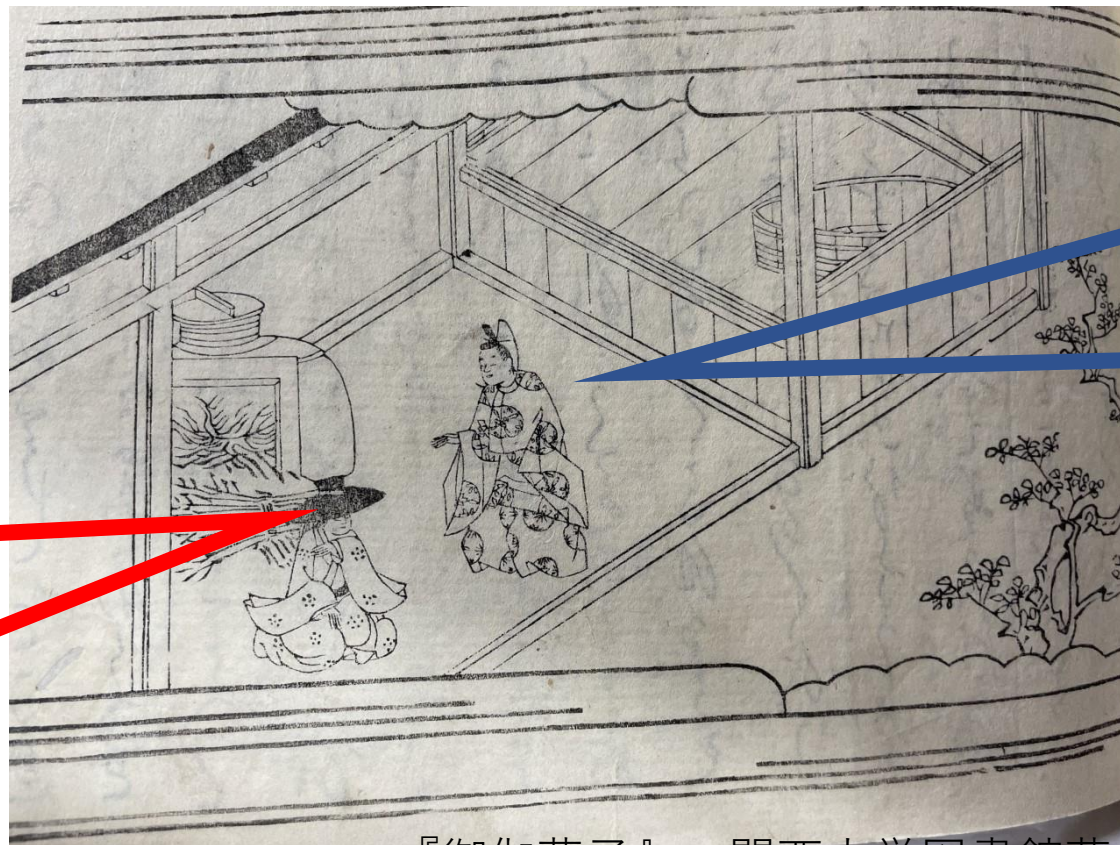
鉢取れないし
家追い出されるし
人生辛すぎ…
死んでお母さんの元へ
行こうとしたのに、
鉢のせいで沈めなくて
死に損ねた…

貴方に相応しい男を必ず私が
見つけてあげるから！
そしたら絶対幸せになれる！
死なせないわよ！

③母親の「婿選び」

- 宰相は、湯殿の火焚きをしている姫の声・手足の美しさに一目惚れし、姫の貞操を奪う。
- 宰相は姫に求婚！しかし周りの人達から反対される…

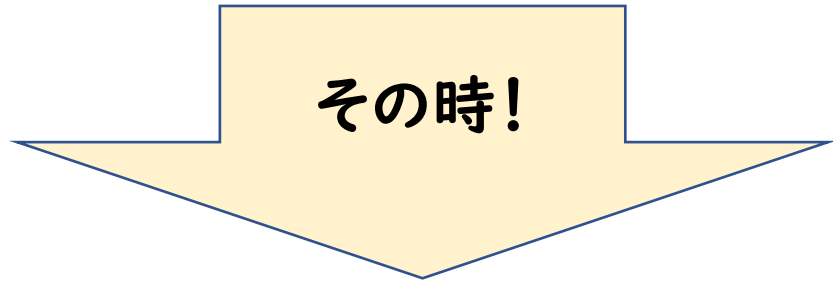
この男、身分高いし
良い男じゃない…
貴方なら娘の操を
あげてもいいわ!



声可愛いし
手足綺麗だし
こんなに美しい人
まずいないんじゃない?
このまま俺のもの
にしてしまおう♪

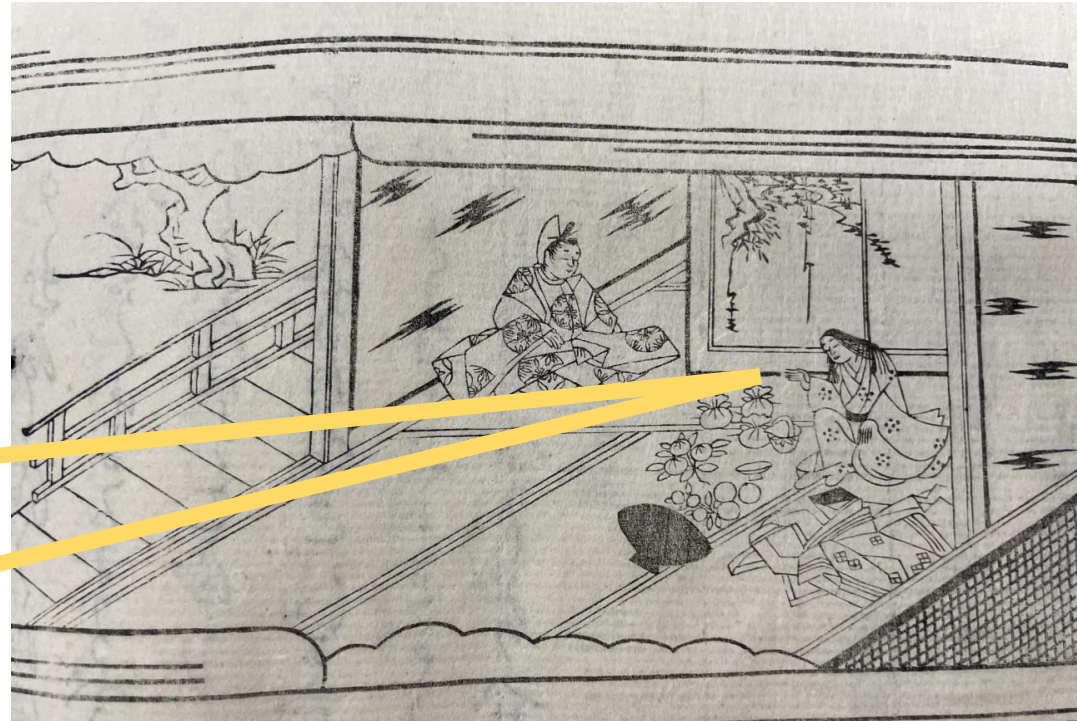
④子離れ

- 宰相の母親は、姫を息子の嫁に相応しくないとと思う。
- 宰相の母親は、姫と、3人の兄嫁達とで嫁比べを企画する。
- 姫は宰相に恥をかかせられないと思い、宰相の屋敷から出て行こうとするが、宰相は姫と一緒にしようとする。



鉢が落ちて中から宝物が沢山!!

鉢が落ちたから嫁比べに参加しても恥をかかない!
鉢からは沢山の宝が...
これは母親が生前観音を信仰していた御利益だ...!



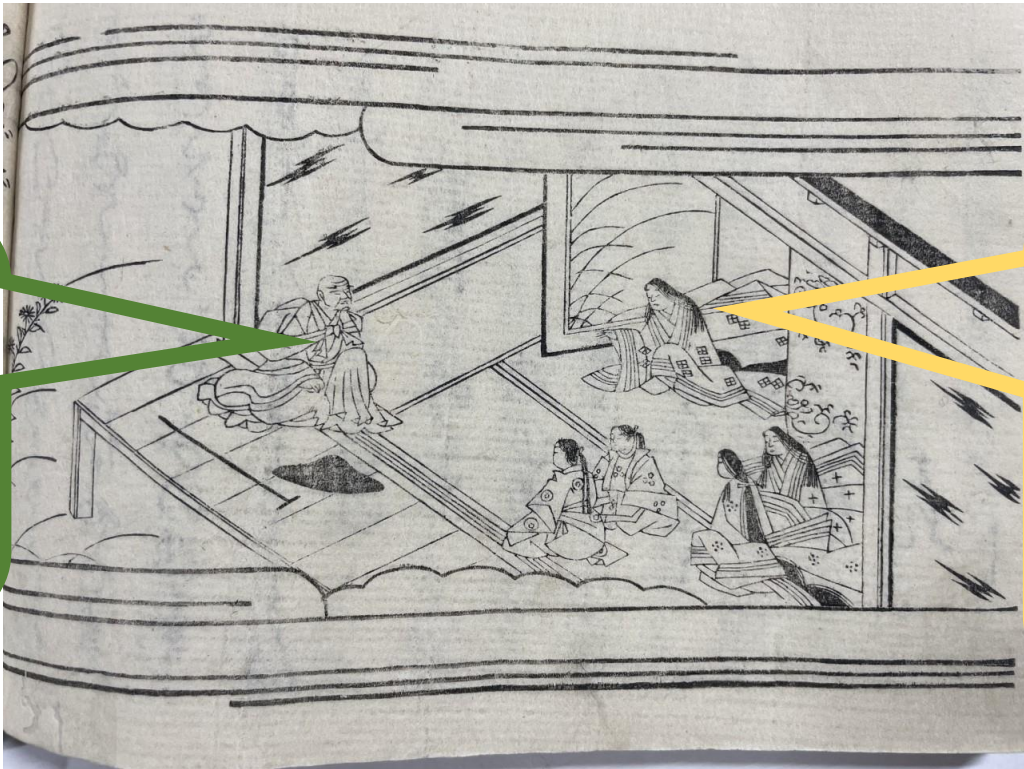
『御伽草子』 関西大学図書館蔵

⑤ 父親との再会

• 姫は自分を追い出した父親と再会しても復讐しなかった。姫はどこまでもいい子…

➡ここで復讐したら観音信仰の加護が得られない。

継母の嘘を信じ娘を追い出した
酷い父親でも、観音を信仰したことで
また娘と再会でき、
良い暮らしができるようになった！
観音万歳！！



父親のこと全然恨んで
ません！お困りなら
助けてあげます！
(特に恨んでもないけど、
逆に言えばそれほど
自分の中で大きな存在
じゃなかった…)

⑥まとめ

- ・鉢は姫ではなく母親の意志に忠実に働くため、**鉢には母親の願いが宿っている。**
- ・姫が幸せになったのは、母親が姫の幸せを願い、それに観音が応えたから。母親は鉢に自らの意志を反映させたため、鉢は姫の意志とは関係なく、母親の願いをかなえていく。
- ・姫は鉢の力に気が付かない。**母親の愛は一方通行だったのだ。**母親は鉢に姿を変えて、姫に執着している。

➡この物語は、姫の母親が、娘が良い男性と結ばれることが最も幸せなことだと信じ、観音さまの力を借りて、「魔法の鉢」に姫を導かせた物語なのだ。

女の幸せって、身分の良い、金持ちと結婚することなの??

